

かながわ経済新聞〔ビズログ〕

KANAKKEI

県内ビジネス情報イッキ読み!

Biz Log

※本紙全てのコンテンツの無断転載・複製・転用を禁止いたします。

2021 VOL.090 6月号

（発行） KANAKKEI かながわ経済新聞
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
相模原商工会館 本館 1F
（制作） 神奈川新聞社

税金 税務 顧問
会社法務の専門家
リンクグループ
042-730-7891
www.link-tax.com

「人財」でお困りなら
株式会社 ミヨシ・ロジスティクス
042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

かながわ経済新聞 2021.6月号

吉田英訓の 連載記事が掲載されました

人の「教育」で大切なこと

今回は教育について話をしていきます。唐突ではありますが、次の問題、どちらを選びますか。

【問題】父親と子供が無人島へ魚釣りに出かけました。父親は魚をたくさん釣ることができますが、子供は全然釣ることができません。あなたが父親ならどうしますか？

①魚を釣れない子供に釣った魚をあげる
②魚を釣れない子供に魚の釣り方を教える

教育という観点から考えると、答えは②であると私は思っています。①のように、魚を釣れない子供に対して魚をあげるとは、短期的には親切かもしれませんが、中長期的にはどうでしょうか。

「教育」は短期的な部分が大いと思えますが、中長期的に考えていく方がより重要であると思います。①の場合、すぐに魚をもらえるという点では、問題解決になるかもしれませんが、ただ、父親がいなくなったら子供は魚を取ることができず、何も解決できなくなってしまいます。

しかし②ならば、父親がいなくなっても、子供は魚を釣ることができます。この魚の例は職場でも同じだと私は考えています。仕事をしていく上で、問題は少なからず発生します。問題に直面した時に、部下や後輩にどのように教えていくかです。答えを伝えていくのか、それとも答えの出し方を伝えていくのかによって成果が大きく変わってしまうのではないかと思います。

自分自身も振り返ってみると、大変だった時に答えを伝えてくれたことより、答えを導き出す方法を教えてもらったことの方が、今でも印象に残っています。

一方、答えを導き出す方法を教えるために重要なのは、自身の「引き出し」を増やすことだと思います。

今回は能力の引き出し方について話をしていきたいと思えます。

（ミヨシ・ロジスティクス代表取締役／近未来技術研究会会長）

吉田英訓の
着眼大局 着手小局
～人と企業～